

平成26年度12月議会 一般質問内容 (12/12)

12/11(木)下記のように一般質問を行いました。

1. ICT (情報・通信技術) 総合戦略について

①工程表作成について

これまでの一般質問の中で、全庁的なICT総合戦略を早急に作成すべきと言ってきたが、いよいよ体制を整えるという事で、実際の稼働が待たれるところである。充実したICTの環境を整えて行くためには、各部署の業務について、ICTを活用して何が変革できるのか調査研究し、それを吸い上げて工程表を作成すべきと考える。まずは、工程表をどのように作成されるのか、お伺いをする。



②スマートウェルネスシティの実現について

現在我が市が進めているエイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）への取り組みに、Smart Wellness City（健康で幸せな生活を送ることができる都市） 首長研究会で現在研究されていることを関連させることは大変重要である。当局の考えをお示しいただきたい。

③ICTを活用した住民参画の促進について

これまで、一部の有識者や団体の長あるいは、公募された市民、またパブリックコメントなどで意見をお伺いするだけではなく、広く市民の声を聴く方法にICTを活用すべきことを述べてきた。また、市民と行政の双方向の関係を創出することで、新しい市民協働の在り方についても期待される場所である。当局の考えをお示しいただきたい。

④ICTを活用した教育力の充実について

効果的にICTを活用して、子ども達の授業の理解を進めていくこと、先生方の公務の負担を軽減させ子どもと向き合う時間を増やすこと、そして、次代を担う子ども達に実際にICT機器を手に取り、ICT環境に慣れてもらうことなどが求められる。更に、インターネットを通じ、情報は容易に手に入る時代になったことで、知識詰め込み型から、数ある情報をもとに、自分の頭で考え、決断し、行動できる能力が求められると思う。当局のお考えをお示しいただきたい。

2. 公共施設白書の活用について

①我が市のファシリティマネジメントについて

これまで、固定資産台帳の早期作成について述べてきたが、この度、公共施設白書が完成し、公共施設マネジメント基本方針が発表された。今後、これを活用して公共施設のマネジメントをしていかねばならないが、公共施設マネジメントは、市の財政問題に大きく関わることから、正確な会計的な視点が入っているのか確認したい。

②固定資産台帳の作成について

来月から3年以内に統一的基準による財務諸表の作成が国から求められ、発生主義・複式簿記の導入の方向性が決まった。そして、新しい公会計制度に必要な固定資産台帳の整備を、来年度中に行うと答弁された。この度作成された公共施設マネジメントに、財政的裏付けを付けるためには、固定資産台帳との連携が欠くことが出来ない。公共施設白書と固定資産台帳の関係に対する市の認識をお伺いする。

3. 我が市の教育課題について

①全国学力・学習状況調査結果から浮き彫りになった課題への対応について

先月、平成26年度全国学力・学習状況調査結果が配布された。昨年から、教育委員会がこの調査の公表に踏み切られたことは、大いに評価するところである。この調査結果を見ると、全国平均に比べ、教科に関する調査結果は良いが、学習習慣・生活習慣・言語活動読解力・自尊感情・学習への関心などについては悪い。今後、この部分を改善していくためにどのような対策を取られるのかお伺いする。

②兵庫県内公立高校の学区再編について

来年の受験から、公立高校の学区再編が始まり、いよいよ受験シーズンを迎え、生徒・保護者の不安は最高潮の状態にある。そこで、市教育委員会としての学区再編に対する取り組み状況についてお伺いする。

一般質問は、宝塚市議会ホームページ宝塚市議会中継で動画配信中です！